

# 2022-2023 Calendar

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
4	2022						5	May						6	June								
	April			1	2		1		2	3	4	5	6	7			1	2	3	4			
3		4	5	6	7	8	9	8		9	10	11	12	13	14	5		6	7	8	9	10	11
10		11	12	13	14	15	16	15		16	17	18	19	20	21	12		13	14	15	16	17	18
17		18	19	20	21	22	23	22		23	24	25	26	27	28	19		20	21	22	23	24	25
24		25	26	27	28	29	30	29		30	31				26		27	28	29	30			
7	July						8	August						9	September								
				1	2		7		8	9	10	11	12	13			1	2	3				
3		4	5	6	7	8	9	14		15	16	17	18	19	20	4		5	6	7	8	9	10
10		11	12	13	14	15	16	21		22	23	24	25	26	27	11		12	13	14	15	16	17
17		18	19	20	21	22	23	28		29	30	31			18		19	20	21	22	23	24	
24		25	26	27	28	29	30							25		26	27	28	29	30			
31								10	October						11	November							
						1				1	2	3	4	5			1	2	3				
2		3	4	5	6	7	8	6		7	8	9	10	11	12	4		5	6	7	8	9	10
9		10	11	12	13	14	15	13		14	15	16	17	18	19	11		12	13	14	15	16	17
16		17	18	19	20	21	22	20		21	22	23	24	25	26	18		19	20	21	22	23	24
23		24	25	26	27	28	29	27		28	29	30			25		26	27	28	29	30	31	
30		31						2	2023						3	March							
	January									1	2	3	4			1	2	3	4				
1		2	3	4	5	6	7	5		6	7	8	9	10	11	5		6	7	8	9	10	11
8		9	10	11	12	13	14	12		13	14	15	16	17	18	12		13	14	15	16	17	18
15		16	17	18	19	20	21	19		20	21	22	23	24	25	19		20	21	22	23	24	25
22		23	24	25	26	27	28	26		27	28	29	30	31	26		27	28	29	30	31		
29		30	31					2	February						3	March							
										1	2	3	4			1	2	3	4				
								5		6	7	8	9	10	11	5		6	7	8	9	10	11
								12		13	14	15	16	17	18	12		13	14	15	16	17	18
								19		20	21	22	23	24	25	19		20	21	22	23	24	25
								26		27	28				26		27	28	29	30	31		

企画展・コレクション展開催 休館日

## Stamp Rally

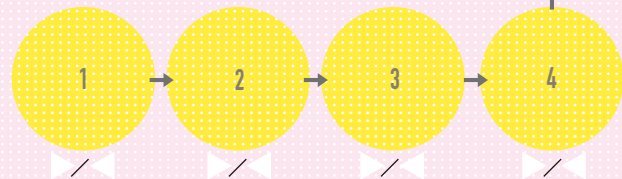
栃木県立美術館 スタンプラリー

大人も参加できます！

STEP 1 受付でこの台紙にスタンプを押してもらいます。  
STEP 2 スタンプを5個集めると素敵なプレゼントがもらえます。

ルール：

- \* 本人のみ有効（高校生以上は有料入館者のみ）
- \* 企画展・コレクション展どちらも対象です。
- 同じ展覧会でも来た回数だけスタンプがもらえます。（企画展、コレクション展両方観れば、スタンプが2個もらえます）
- \* 初回受付日（はじめてスタンプを押した日）より1年間有効。年度が切替った場合は、古い展覧会スケジュールをお持ちください。スタンプを移行します。



- 1 観覧時間  
午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- 1 休館日  
月曜日（祝日、振替休日、県民の日は開館して翌日休館）、  
展示替期間、年末年始
- 1 無料日  
6月11日（土）、12日（日）、15日（水）（県民の日）、11月3日（木）（文化の日）  
※事前予約制とする場合がありますので、当館HP等でご確認ください。
- 1 美術館友の会  
会員証の提示により展覧会が年4回まで観覧できます。会報の送付や図録の割引等の特典があります。（入会は正面受付にて随時）
- 1 交通案内  
JR宇都宮駅、東武宇都宮駅から関東バス作新学院・駒生行にて  
桜通十文字（足利銀行本店前）下車 徒歩5分
- 1 Museum Hours  
9:30 - 17:00 (last admission 16:30)  
Closed on Mondays
- 1 Admission Free Days  
On 11, 12 and 15 June, 3 November

- \* M割（ミュージアム割引）  
一般または、団体料金で6ヶ月以内に購入した栃木県立美術館もしくは栃木県博物館協会のM割参加館の半券を窓口で提示してください。団体割引でご覧いただけます。
- \* 観覧料の免除  
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその手帳に第1種または第1級と記載のある方の介護者1名の観覧料は無料となります。受付に手帳をご提示ください。

### アートリンクとちぎ 2022

当館所蔵品による展覧会が県内の会場で開催されます。

「野澤一郎が愛した美術」展  
2022年4月23日（土）- 6月5日（日）  
小山市立車屋美術館

「日本近代歴史画家  
小堀鞆音と羽石光志」展  
2022年10月8日（土）- 12月25日（日）  
ふみの森もてぎ歴史資料展示室

### 伊東直子マイセン磁器コレクション

マイセン磁器展示室では、18世紀から20世紀までの日本有数のコレクション約100点を、年4回の展示替えて紹介します。



《色絵ポリヤ付群像「慈愛の寓意」》  
18世紀中頃  
撮影：西村義次



# Exhibitions Schedule

栃木県立美術館 2022-2023





■ 企画展

題名のない展覧会

一 栃木県立美術館 50年のキセキ

50th Anniversary  
Collection of Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

4月16日[土] - 6月26日[日]

1972年に開館した栃木県立美術館は、2022年、開館50周年を迎えます。その間に収集した作品は約9,000点、開催した企画展は240本にのぼります。今回の展覧会は特定のジャンルや時代、作家に注目したのではなく、当館50年のキセキを過去の企画展や選りすぐりの作品を通してたどる「題名のない展覧会」。作品

の制作秘話や学芸員だけが知るエピソードなどを織り交ぜながら、企画展示室、常設展示室の全館を使って展示します。50年の蓄積をもとにこれからの50年へ、新たな扉を開きます。



ジョン・コンスタブル  
《デダム谷の台》  
1805-17年頃

濱田庄司  
《柿軸赤絵扁壺》  
1971年



一般：800(700)円  
大高生：500(400)円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金  
\*6月11日(土)、12日(日)、15日(水)は県民の日関連につき観覧料無料



小杉放菴  
《金太郎遊戯》  
1944年

\*コレクション展]は「題名のない展覧会」(第5章)の展示です。

没後40年 リマスター  
山中信夫☆回顧展

A Retrospective | Nobuo Yamanaka  
1948 tokyo-1982 new york | Remastered

7月16日[土] - 9月4日[日]

サンパウロやパリのビエンナーレに参加するなど国際的に高い評価を得ながらも34歳の若さで亡くなった山中信夫は、写真装置の原点であるピンホール(針穴)の原理を、自己と他者との対峙関係として、光学的厳密さにおいて探求した伝説的アーティストです。

没後40年から検証する本展では、現存する代表作のみならず、貴重なアーカイブ資料を援用しながら、コンセプトアルな映像とまばゆいピンホール写真による光の遊戯性を再確認するとともに、戦後の視覚芸術に重要な足跡を残した現代美術のレジェンドの一貫した活動の展開を約150点の写真、映像で迎えます。



山中信夫  
《camera obscura 2》  
1977年



山中信夫  
《95コのピンホール》(部分)  
1973年

一般：800(700)円  
大高生：500(400)円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金

第76回  
栃木県芸術祭  
美術展

洋画・彫刻・工芸

76th Tochigi-ken Art Festival,  
Fine Art Exhibition  
Painting in Western Style,  
Sculpture, Craft

9月24日[土]  
- 10月6日[木]

県内公募の入選・入賞作品を招待作品とともに展示します。

洋画、彫刻、工芸部門を当館で、日本画、書道、写真部門を栃木県総合文化センターで展示します。

(10月29日[土] - 11月8日[火])

お問合せ先  
栃木県文化協会  
宇都宮市本町1-8  
(栃木県総合文化センター内)  
電話 028-643-5288

開館50周年記念展  
印象派との出会い

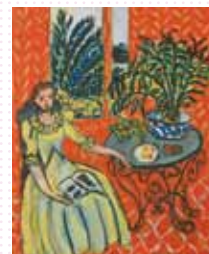
一 フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション  
Encounters with Impressionism:  
From the Hiroshima Museum of Art Collection

10月22日[土] - 12月25日[日]

ひろしま美術館は、1978年に創立100周年を迎えた広島銀行が記念事業として設立した美術館です。印象派の絵画を中心としてロマン派からエコール・ド・パリまでに至るフランス近代絵画と日本の近代洋画を収蔵しています。本展では、モネやルノワール、セザンヌといった印象派の代表的な画家たちをご紹介しますとともに、その出会いから変わりゆくフランス絵画史の100年をたどります。



クロード・モネ  
《セヌ河の朝》  
1897年  
ひろしま美術館蔵



アンリ・マティス  
《赤い室内の緑衣の女》  
1947年頃  
ひろしま美術館蔵

一般：1,200(1,000)円  
大高生：600(500)円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金  
\*11月3日(木)「文化の日」は観覧料無料

「二つの栃木」の架け橋  
小口一郎展

足尾鉾毒事件を描く  
KOGUCHI Ichiro : A Retrospective

2023年1月21日[土] - 3月26日[日]

小山市出身で版画家として活躍した小口一郎(こぐち・いちろう、1914-1979)の全貌を、そのライフワークとなった足尾鉾毒事件を主題とした作品を中心に紹介します。小口一郎研究会の全面的な協力を得て、初めて連作版画集『野に叫ぶ人々』、『鉾毒に追われて』、『盤圧に耐えて』の全点を一堂に展覧するものです。あわせて油彩画や版画作品、資料も紹介し、約250点で知られざる美術家、小口一郎の生涯を回顧します。



小口一郎  
《『野に叫ぶ人々』より  
演壇に立つ田中代議士》  
1955-69年  
小口一郎研究会蔵



一般：900(800)円  
大高生：600(500)円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金

小口一郎  
《『鉾毒に追われて』より  
帰郷》  
1971-73年  
小口一郎研究会蔵

■ コレクション展

所蔵品により、栃木県および国内外の近現代美術を中心とした作品を年4回の展示替えで紹介。

一般：260(200)円  
大高生：120(100)円  
中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金  
企画展観覧券でコレクション展もご覧いただけます。

Collection 2



小堀鞆音  
《美平朝臣角田川詠歌図》  
明治-昭和初期

コレクション展Ⅱ  
特集 小堀鞆音

7月16日[土] - 10月6日[木]  
※9月5日(月) - 23日(金)は休館

本県佐野市出身の近代歴史画の大家・小堀鞆音の作品を、近年の新収蔵品を中心に紹介します。

Collection 3



舟越桂  
《風をためて》  
1983年  
撮影：大谷一郎

コレクション展Ⅲ  
みんなの《推し》  
コレクション!

10月22日[土] -  
12月25日[日]

2022年4月~8月にかけて実施する「県美コレクション総選挙」の結果を反映し、皆さまが選んだ人気作品を一堂に!

Collection 4



川上澄生  
《時計とランプ》  
1955年

コレクション展Ⅳ  
時のながれ

2023年1月21日[土] - 3月26日[日]

1日、1か月、1年、長い時間をかけて変化していくもの。作品の中に流れる「時間」に着目して紹介します。